資料番号	12

令和７年４月 18 日
課　名　土木建築局技術企画課
担当者　課長　後藤
内　線　3852

広島県建設分野の革新技術活用制度に係る技術の登録について

１　要旨

「広島県建設分野の革新技術活用制度」に基づく第６期登録として、新たに 10 技術の登録を行い、令和７年度当初時点の登録数は 181 技術となったことから、その概要を報告する。

２　現状・背景

建設分野における担い手不足などの様々な課題に対応するため、公共土木施設の調査・設計・施工・維持管理のあらゆる段階において、施設の長寿命化技術及びインフラ整備等の効率化・高度化に資する革新技術を登録・活用する本制度の運用を行っている。

＜登録区分＞

登録区分	区分の考え方
区分3	活用促進を図る技術
区分2	技術の試行により効果を確認することが必要な技術
区分1	活用するには更なる開発または改良が必要な技術

３　概要

（１）登録状況

第６期登録では、令和７年１月末までに申請のあった 10 技術について、広島県建設分野の革新技術検討委員会（委員長：中山隆弘　広島工業大学名誉教授）の意見を踏まえた技術審査により、10 技術の新規登録を行い、令和７年度当初点の登録数は 181 技術となった（第６期新規登録技術の詳細は添付資料のとおり）。

＜第６期新規登録結果＞

主部門	区分3	区分2	区分1	合計
長寿命化	2	0	0	2
効率化	3	0	0	3
高度化	5	0	0	5
合計	10	0	0	10

＜令和７度当初時点の登録状況一覧＞

	主部門	区分3	区分2	区分1	合計
第1～6期	長寿命化	61	18	0	79
	効率化	62	9	0	71
	高度化	22	7	2	31
合計		145	34	2	181

なお、登録技術の概要については、４月 18 日（金）13 時から県ホームページで公表する。

＜県ホームページリンク＞

https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/asset/summary-of-the-technology.html

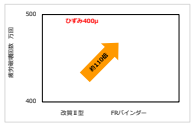
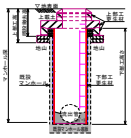
（２）今後の対応

引き続き、当該制度や登録技術について周知を図りながら、それらの技術を公共事業で積極的に活用することでコスト縮減・効率化を図るとともに技術開発等を促していく。

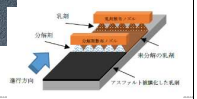
■第6期登録技術の概要

添付資料

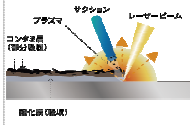
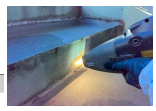
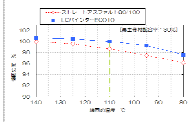
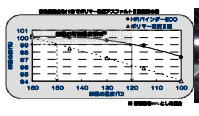
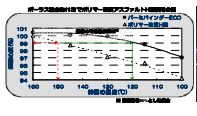
（長寿命化部門）

登録番号	主部門	副部門	登録区分	技術名称	申請者	技術概要	
1-06-078-3	長寿命化	—	区分3	高たわみ性ポリマー改質アスファルト【FRバインダー】	東亜道路工業株式会社 中四国支社	FRバインダーは、交通荷重による舗装のたわみに追従し、ひび割れ抵抗性に優れたポリマー改質アスファルトである。本製品の使用により、ひび割れの発生を抑制し、アスファルト舗装の長寿命化を実現する。	
1-06-079-3	長寿命化	—	区分3	下水道自立マンホール更生工法「SSホールシステム」	ハイブリッドマンホール協会	既設マンホールをコンクリートブロックと強化プラスチック複合管で新設同等以上の性能に更正する。コンクリートブロックは、活荷重、上載荷重を周辺地盤に分散し、底版への作用荷重が極力伝達しない構造である。	

（効率化部門）

登録番号	主部門	副部門	登録区分	技術名称	申請者	技術概要	
2-06-069-3	効率化	—	区分3	一材型PCM乾式吹付工法　エアショットワン	太平洋マテリアル㈱ 中国支店	圧縮空気で圧送したモルタルパウダーとポンプ圧送した水を吹付ノズルの先端で混合・吹付する乾式吹付工法。従来技術に比較し、優れた厚付性、長距離圧送性、粉塵発生の抑制が図れ、施工の効率化が図れる。	
2-06-070-3	効率化	—	区分3	高性能タックコート【タックファインSQ】	東亜道路工業㈱ 中四国支社	本技術は、タイヤ付着抑制型アスファルト乳剤（PKM－T）規格に準拠した改質アスファルト乳剤と分解促進剤を専用ディストリビュータを用いて同時に散布する高性能タックコートである。	
2-06-071-3	効率化	—	区分3	J-HDスリット	JFE建材㈱	不透過型堰堤に流木捕捉機能を付加できる流木捕捉工であり、本技術は、不透過型砂防堰堤の原型を保ったまま流木捕捉機能を付加できるのが特徴である。	

（高度化部門）

登録番号	主部門	副部門	登録区分	技術名称	申請者	技術概要	
3-06-027-3	高度化	—	区分3	非接触の塗膜除去工法「クリーンレーザー工法」	一般社団法人クリーンレーザー工法協会	同工法は、高密度のレーザー光を照射することにより、塗膜・錆・塩分を除去する工法である。産業廃棄物の低減や騒音の抑制の効果があり、塗膜等を熱処理ではなく分解して除去することから、母材への熱影響が無い。	 
3-06-028-3	高度化	—	区分3	汚泥および石炭灰を利用した準固化材EB	㈱熊野技建	本技術は、軟弱土に球状材料EBを混合攪拌することにより粒度改善と地盤改良効果のある準固化材である。原料は汚泥や石炭灰等からなりリサイクル率向上に寄与するとともに、CO2も吸着する低炭素化材料である。	
3-06-029-3	高度化	—	区分3	中温化ストレートアスファルト【LCバインダーECO】	東亜道路工業㈱ 中四国支社	本技術は、特殊な製造・施工技術を必要とせず、通常のストレートアスファルトと同様の取り扱いが可能な中温化ストレートアスファルトである。従来より約30℃程度低い温度での製造を実現する。	
3-06-030-3	高度化	—	区分3	中温化ポリマー改質アスファルトⅡ型【HRバインダーECO】	東亜道路工業㈱ 中四国支社	本技術は、ポリマー改質アスファルト2型の規格に適合した中温化改質アスファルトである。特殊な製造・施工技術を必要とせず、ストレートアスファルトと同程度の温度でアスファルト混合物が製造可能である。	
3-06-031-3	高度化	—	区分3	中温化ポリマー改質アスファルトH型【パーミバインダーECO】	東亜道路工業㈱ 中四国支社	本技術は、ポリマー改質アスファルトH型の規格に適合した中温化改質アスファルトである。特殊な製造・施工技術を必要とせず、ストレートアスファルトと同程度の温度でアスファルト混合物が製造可能である。